

出会えて良かった

長崎県

波佐見弘道館

小学6年 中尾尊仁

「尊仁！」「たか！」

二時間の稽古の中で幾度となく指導者の先生方に呼ばれる。それは、技の教えや、叱りだけではなく、休憩中の笑い話をするときも同じです。フラフラになるまで稽古したのにその辛さが一瞬でなくなる感覚。道場の中が笑い声で響き渡ります。その日の稽古の反省をしつつ、楽しい会話が、また明日も稽古をしたいと思います。とさせてくれます。

僕にとって、とても大事な存在である、指導者の先生方。そして剣友と家族の応援。

「はい！竹刀てんけーん！」

稽古の途中、先生のかげ声で皆一斉に竹刀を見ます。何度か点検するうちに、その日に持って行った三本の竹刀がすべて割れ、後半の稽古ができない。と焦っていました。それに気付いた剣友が、「俺の竹刀で良かったら使っていいよ。」と貸してくれた。すまない気持ちと、嬉しい気持ちになり、その日の稽古が充実したものとなりました。

その剣友に感謝の気持ちでいっぱいになり、自分も困っている人を見かけたら、助けようと強く思いました。

「お互い様」という言葉をかけられました。さり気なくかけられた言葉ですが、嬉しい言葉でした。

道場や試合場には、「お願いします。」と、一礼して入ります。これは、剣道を学んでいる人にとって、当たり前なこと、僕もその通りにしています。その他の作法も同じです。しかし、普段の生活態度は、その時以上に家族から見られています。

僕の家族は厳しいです。日々の生活の中で何かと注意されます。「ダラダラしないよ」「ニヤニヤしない」「勉強しなさい」食事の場でも同じです。「食べ物を口に入れたまま話をしない。」と注意されます。クチャクチャ言わせて食べると、また注意されます。それに対して、「何が悪い」と思い、反抗的な態度をとっていました。しかし、もし自分がそういう人を見かけたら、どう思うだろう。と考えられるようになってきました。

自分が人と過ごし、生活していく上で、全ての行動に、マナーや思いやりの心があると皆が笑顔になると思います。

僕は剣道が好きです。

ここまで自分が剣道に夢中になれたのは、熱心に稽古をつけてくれる指導者の先生方と、お互いに声をかけ合いながら、厳しい稽古と一緒に乗り越えられる先輩や後輩がいるからです。そして、家族が真剣に自分のことを応援してくれているからです。強さだけではなく、

剣道を通して指導者の先生方と剣友そして、家族と深く関わらせて、日々幸せを感じられるからです。

「美しい所作は、美しい人を作る」

この言葉は、ある日の礼式で指導者の先生がお話しされた言葉です。立ち方や座り方、言葉使いなど、美しくあれば、人に良い印象を与えるものと聞きました。先生方は、いつも背筋が伸びていてきれいです。常に見習い、自然にできるようになりたいです。そして、これまでの全てを含んで、道場での学びは、自分にとってかけがえのないものです。

振り返ると五歳の頃から歩み始めた「剣の道」泣き虫だった自分が、今では堂々と試合場に立っている。自分の努力だけでは、決して得ることのできなかった「勇気」

この「勇気」があれば、何にでも挑戦できるような気がします。だから僕は、試合や稽古の時だけではなく、どんな時もこれを胸に、前に進みます。

剣道に出会えて良かった。

僕は、明日からも皆と稽古がしたいです。